

校正・検査成績書

依頼者 お客様会社名 殿
住所 お客様会社所在地

J O B N o . JB200101

品名 JIS 型ビット管 $\Phi 6 \times 380\text{mm}$ LST

器物番号 JB160202-05

製造者名 ツクバリカセイキ株式会社

検査項目 外観検査、導通検査、漏れ検査

校正項目 ビット係数

検査及び校正の方法 ツクバリカセイキ(株)「検査・校正手順書-ビット管」による

検査及び校正の結果 次頁以降のとおり

実施年月日 2020年3月25日

実施場所 ツクバリカセイキ(株) 本社検査室 (茨城県つくば市要 212)

担当者氏名 馬場 裕



検査及び校正結果は以上のとおりであることを証明します。

2020年3月31日 発行

茨城県つくば市要 212 番地

ツクバリカセイキ 株式会社

代表取締役社長 浜 和 伸



1. 検査結果

- (1) 外観検査 異常なし
 (2) 導通検査 異常なし
 (3) 漏れ検査 異常なし

2. 校正結果

設定風速 (m/s)	WS ビトー管 差圧 (Pa)	校正対象 ビトー管差圧 (Pa)	ビトー係数 (-)	ビトー係数の 拡張不確かさ (%)
4.00	9.52	9.54	1.008	3.14
6.01	21.51	21.51	1.006	1.44
9.00	48.19	48.19	1.004	0.74
11.99	85.46	85.44	1.004	0.54
14.99	133.25	133.20	1.003	0.47
17.99	191.67	191.62	1.003	0.44
21.01	260.98	260.88	1.003	0.43
23.95	339.14	338.81	1.003	0.42
26.99	430.55	430.02	1.002	0.42
29.92	529.83	529.03	1.002	0.42

- ・校正はワーキングスタンダードビトー管(WS ビトー管)との比較測定により実施した。
- ・風速、ビトー係数およびビトー管差圧の間には次の式が成立する。

$$V = C \sqrt{\frac{2\Delta P}{\rho}}$$

V : 風速(m/s) C : ビトー係数 ΔP : ビトー管差圧(Pa) ρ : 空気密度(kg/m³)

- ・上記のビトー係数の拡張不確かさは、包含係数 $k=2$ を標準不確かさに乗じて求めた。包含係数 $k=2$ は、正規分布においては、約 95%の信頼の水準に相当するものである。

3. 校正条件

校正実施時の検査室の環境条件は以下のとおりである。

気温：24.9℃ 気圧：1016.74 hPa 湿度：21% 空気密度：1.1863kg/m³

4. トレーサビリティ体系図

別紙のとおり

以上

別紙：トレーサビリティ体系図

